



カスタム検索

検索

▶ ページの探し方 ▶ カテゴリーから探す ▶ 府庁の組織から探す

文字サイズ: 縮小 標準 拡大

トップ

<らし・住まい
まちづくり
人権・男女
共同参画福祉・
子育て教育・学校・
青少年健康・医療
商工・労働環境・
リサイクル農林・
水産業都市魅力・
観光・文化都市計画・
整備防災・安全・
危機管理府政運営・
市町村

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [特色のある「教育コミュニティづくり」の取組み](#) > 「学校支援地域本部」訪問記録 豊能町立吉川中学校区 [はじめての方へ](#) [サイトマップ](#)

「学校支援地域本部」訪問記録 豊能町立吉川中学校区

更新日: 平成24年8月23日

「学校支援地域本部」訪問として、豊能町立吉川中学校学校支援地域本部を訪問しました。

1. 日 時

平成24年6月26日(火曜日) 午後3時50分から4時50分

2. 訪 問 校

豊能町立吉川中学校 (豊能町立吉川中学校区学校支援地域本部)

3. 訪 問 者

市町村教育室地域教育振興課 山本総括主査、澤井主任社会教育主事

4. 対 応 者

豊能町立吉川中学校 新谷校長
 豊能町教育委員会事務局教育支援課 板倉課長
 豊能町立吉川中学校学校支援コーディネーター 米田さん
 訪問当日の学校支援ボランティア 5名

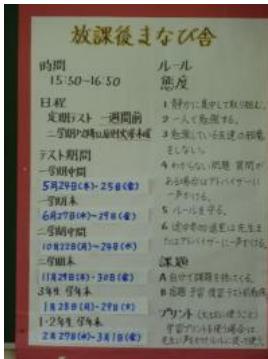
5. 内 容

校長・コーディネーターからの聞き取り
 放課後学習支援活動の視察

6. 特記事項

- ・平成21年度開始。米田学校支援コーディネーターは、当初から関わり、本年度で4年めを迎えている。
 学校と地域諸団体とをつなぐ要の役割を果たし、各小学校のコーディネーターとも連絡調整を密に行っている。
- ・吉川中学校区フェスティバル「ふれあいのつどい」においても、各団体との連絡・調整・準備等においてコーディネーターとして活躍している。
 「ふれあいのつどい」には、児童・生徒もボランティアとしてスタッフに加わり、その人数も年々増えている。(平成22年度15から20人、平成23年度40人)
- ・生徒は、地域の方々が日常的に学校に入り込んでいる中で、自然にあいさつを交わせるようになるなど、温かい雰囲気になってきている。
 多数のボランティアを巻き込んで活動を展開しているため、学校教職員の地域活動への参加・協力も自然に活発化してきている。
- ・コーディネーターは、1年生を対象として、和楽器(琴)を使用した授業における学習支援を展開し、地域人材(琴の先生)と学校をつないでいる。琴は、学校備品に加えて5面程借りることができ、生徒2人で1面使用でき、1クラス3時間くらいの単元構成で「さくら」が弾けるようになる。
 1年生の「福祉体験授業」(総合的な学習の時間)における学習支援も展開。車いす・アイマスクでの移動及び介助、手話・点字の実技などを、地域でボランティアとして活動している方々と学校をつなぐことによって支援している。単元10時間のうち、5時間程は地域の方が支援している。
- <放課後の学習支援の様子>
 ・参加生徒 20名(3年生中心)
 支援者 学習アドバイザー2名(うち1名は学生ボランティアで、元教育実習生)、学校事務職員1名、支援学級支援員1名、ALT1名、コーディネーター1名
- ・基本は自学自習。必要に応じて生徒が学習アドバイザー等に質問し、支援を受けることができる。
 教材として、大阪府作成の学習指導ツールの教材等を整備。

・落ち着いた雰囲気で学習に取り組めている。



放課後の学習のルール等を
わかりやすく掲示

数学・英語の教材プリントを整備
(大阪府の学習指導ツール等を活用)



中央が学生ボランティアの
学習アドバイザー



社会人の学習アドバイザーはじめ、様々な学校関係者が自主的に
学習を支援



学習のようすを見守る
学校支援コーディネーター（右）



生徒たちは、落ち着いた雰囲気で
学習に取り組んでいる

[ページ先頭に戻る](#)

このページの作成所属
[教育庁 市町村教育室地域教育振興課 地域連携グループ](#)

[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[お問い合わせ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府 本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 (代表電話)06-6941-0351
(法人番号 4000020270008) 咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 (代表電話)06-6941-0351

[大阪府庁への行き方](#)

© Copyright 2003-2017 Osaka Prefecture, All rights reserved.